

## 学校だより

5月号



重点目標 「いっぽ いっぽ」 ～自分の思いを伝えよう 相手の心を感じよう～



## たくさんの人に支えられて また いっぽ

朝、正門の前で子どもたちを迎えていると「なかよし小道」からだんだん元気な声とシルエットが大きくなってきます。「おはようございます」子どもたちからもらう大きな声でのあいさつは私の1日分のエネルギーとなっています。

6割以上の児童が使用する「なかよし小道」は、地域の土地の所有者からお借りして、子どもたちの通学路として平成18年に作られたものです。先日、この土地を提供していただいている地権者のお宅にPTA会長と一緒に訪問し、今年度も子どもたちの安全な通学のために活用させていただくことをお願いしてきました。地権者の方は、子どもたちが安全に登校できていることやPTAの方々やおやじたちの会の人たちが協力していつもきれいに「なかよし小道」を整備していただいていることをとても喜ばれていました。



4月の中旬には、市教育委員会が道の補修と新しい看板の取り付けをしてくださいました。

なかよし小道ができて今年で19年。たくさんの人に支えられながら、なかよし小道は子どもたちのために活躍しています。今年もなかよし小道を中心とした環境整備を6月22日(土)に開催します。ぜひお子さんと一緒に参加していただけるとありがたいです。



さて、新年度も1か月がたちました。どの学年、学級も元気に学習している姿が見られます。1年生にとって4月の学校生活は初めてのことばかりですが、いっぽ いっぽできることが増えてきていて感心しています。4月22日からは、給食が始まりました。本来の給食時間より20分ぐらい早めての給食準備。ゆっくりでも一人ひとりが自分で給食の準備をしています。配膳の順番を待つ子ども

も離席をしないでしっかり待つことができていました。食べた後の片付けは特に大変です。お皿を返却するときに残したものと食缶に戻さなければなりませんし、牛乳もパックを開いて返却します。そろそろ片づけの時間・・・のところに5年生が数名ずつ各教室に片づけの応援に来てくれます。牛乳パックをあけることが難しい子は手を挙げて5年生に手伝ってもらっています。また、食器を戻すときも5年生は配膳台の前に立って、おかずの返しかたに困っていないか、食器の重ね方に間違いはないか等、見守ってくれます。過度に手を貸さずに、1年生が自分でやろうとしていることやできそうなことは見守り、困っている子には手を差しのべる5年生のかかわり方も「上手だな」と感心しています。困ったら支えてくれる5年生の下で安心してまたいっぽ成長している1年生です。



これからも学校生活の中で、子ども同士のかかわり合いを大切にしながら子どもたちの笑顔を増やしていくとともに、自分たちはいろいろな方に支えられていることを実感させながら、安心していっぽが踏み出せる中央林間小学校の子どもたちになってほしいと願っています。(校長)